

1. 事業の概要と円借款による協力



サイト地図



本事業を通じて融資を受けた農民

1.1 背景

タイにおける農業セクターは、輸出額の30%を占めるタイ経済にとって重要な外貨獲得源となるセクターであった。農業セクターはまた、労働人口全体の64%と、大きな雇用の受け皿にもなっていた。セクターに関する問題は貧困であり、一人あたり収入は他のセクターよりも低く、この格差は毎年広がっていた。セクター間の格差の上、地域による収入格差も深刻な問題となっており、特に発達した中部と発展の後れた北部・北東部の格差は特に大きかった。

理論的には、タイの農民は政府系の農業金融機関、商業銀行、民間の貸金業者から融資を得られることになっているが、実際には、零細農民にとってローンへのアクセス、特に商業銀行からの借入れは限られていた。ゆえに農民はしばしば民間の貸金業者から資金を借り、高金利に苦しめられることが多かった。そのような状況下、「農業・農業組合銀行」(Bank for Agricultural and Agricultural Cooperatives: BAAC) は唯一の政府系農業銀行であり、小規模農家へ特別低金利で貸付を行っていた。

第6次、第7次5ヵ年開発計画(1986~90年, 1991~1996年)では、農産物の多様化、技術開発、市場の拡大(例: 輸出促進と流通システムの改善)を通じた農業開発の重要性が述べられていた。貧困農村地域が政策のターゲットとなっていた。以上において、BAACの役割は非常に重要であった。

1.2 目的

生産と農協活動支援に対してローンを供与する BAAC を支援することによって、小規模・低所得農民の生産性を向上させ、それによって、農家収入の増加あるいは安定化を図るもの。

各個別ローンの目的は以下のとおりである。

BAAC ローン(8)

6種類の作物の生産推進と農民へのマーケティングサービスについて BAAC を支援をする。

BAAC ローン(9)

農民の農作物推進活動について BAAC を支援する。

BAAC ローン(11)

農村地域において、作物の多様化を通じて小規模農民の収入を増加と安定化させることについて BAAC を支援する。

地方農村開発信用事業

小規模農民の農産物生産と収入を増加・安定化させ、貧しい農村地域における農協活動を奨励する。

1.3 事業範囲

プロジェクトタイトル	BAAC ローン(8)	BAAC ローン(9)	BAAC ローン(11)	地方農村開発信用事業
(a) サブローンの供与				
- 作物項目	-果樹 -漁業 -家畜 -食用作物/野菜 -花卉	-果樹 -養殖 -酪農 -家畜 -食用作物 -新世代農民推進プログラム	-果樹 -漁業 -家畜 -食用作物 -養蚕	-果樹 -漁業 -家畜 -食用作物/野菜 -養蚕 -花卉
-投資項目	-農地造成・改良 -農業機械 -貯蔵・乾燥施設 -集荷施設 -運搬器具 -家畜 -漁具・漁船等	-農地造成・改良 -農業機械 -運搬器具 -農用建物 -家畜 -養殖施設 -その他のインフラ	-農地造成、牧草地開発養殖施設 -農業機械・器具 -養殖池建設 -農業用建物の建設 -家畜 -その他	-農地造成、牧草地開発養殖施設 -農業機械・器具 -農業用建物、農業建築物 -家畜の購入 -その他
- 融資資格のある農民	年間所得 50,000 円以下	年間所得 50,000 円以下	年間所得 50,000 円以下	年間所得 35,000 円以下
-サブローン条件 金利 返済 (うち据置)	9.8%p.a. 15 年以内 (5 年以内)	9.0% p.a. 15 年以内 (5 年以内)	9.0% p.a. 20 年以内 (i)12 年以内, (ii) 東北部のゴム栽培の金利支払いの場合は金利据置 8 年以内)	9.0% p.a. 20 年以内 (i)12 年以内, (ii) 東北部のゴム栽培の金利支払いの場合は
融資金額(円)	10,000 - 300,000	10,000 - 300,000	10,000 - 5,000,000	10,000 - 5,000,000
- サブローン融資比率	サブローンの 75%	全プロジェクトコストの 60% 以下	全プロジェクトコストの 80% 以下	全プロジェクトコストの 80% 以下
(b) 農協組合への融資				
- 対象項目				-農機具 -農業用建物、建築物 -燃料と油のステーションサービス -サイロと倉庫 -精米機 -トラック -農産物乾燥施設
-対象農協				BAAC 購買販売農協および既存農協組合
-サブローン条件 金利 返済 (うち、置) 融資金額 (円)				11.5% - 14.5%p.a. 20 年 (5 年) 5,000,000 以下
(c)コンサルティング	長期融資の運用と農民のマーケティング支援について BAAC を援助する 計: 55M/M	サブ・ローンスキームの実施 (進捗報告等を含む) と関連する農民へのマーケティング支援について BAAC を援助する 計: 48M/M	サブ・ローンスキームの実施 (進捗報告等を含む) と関連する活動について BAAC を支援する。 計: 19M/M	サブ・ローンスキームの実施と関連する活動について BAAC を支援する。 計: 12M/M

1.4 借入人／実施機関

農業・農協組合銀行（Bank for Agricultural and Agricultural Cooperatives）
（タイ政府保証）

1.5 借款契約の概要

プロジェクト名	BAAC ローン(8)	BAAC ローン(9)	BAAC ローン(11)	地方農村開発信用事業
円借款承諾額 実行額	3,672 百万円 3,672 百万円	4,875 百万円 4,875 百万円	4,694 百万円 4,694 百万円	2,837 百万円 2,837 百万円
交換公文締結 借款契約調印	1987 年 9 月 1987 年 9 月	1988 年 9 月 1988 年 9 月	1991 年 9 月 1991 年 9 月	1992 年 12 月 1993 年 1 月
借款契約条件	金利 3.0%、 返済 30 年 (うち据置 10 年) 一般アンタイド (コンサルティング サービスは 部分アンタイド)	金利 2.9%、 返済 30 年 (うち据置 10 年) 一般アンタイド (コンサルティング サービスは 部分アンタイド)	金利 3.0%、 返済 25 年 (うち据置 7 年) 一般アンタイド	金利 3.0%、 返済 25 年 (うち据置 7 年) 一般アンタイド
貸付完了	1990 年 6 月	1991 年 7 月	1994 年 6 月	1996 年 3 月

2. 評価結果

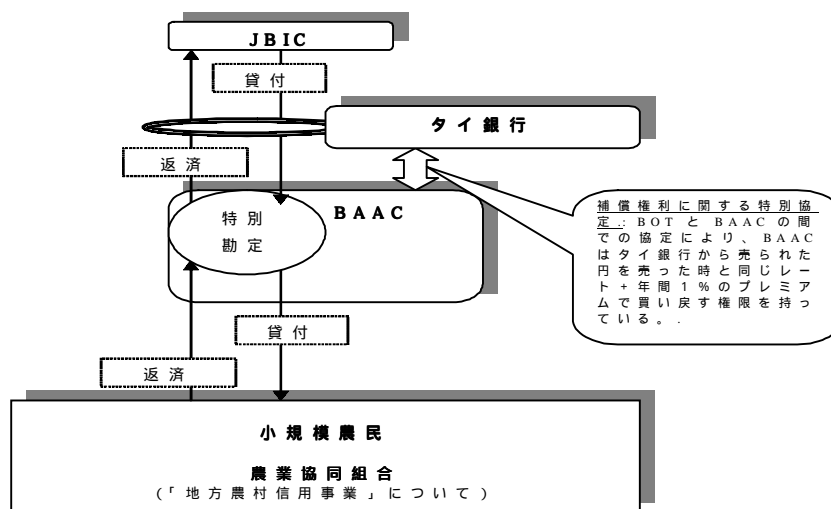
2.1 計画の妥当性

本事業の目標は、タイにおける当時の開発政策に照らして妥当であったし、現在においても妥当である。アプレイザル時（1987、88、91、93 年）においては、これら 4 つの事業（以降、本報告書で評価される 4 つのローンを指す）は、第 6 次、第 7 次国家経済開発計画（1986～1990 年、1991 年～1996 年）に合致するものであった。

プロジェクト目標は、BAAC が貧困に苦しむ農村地域の小規模農民へ資金支援を行う上で重要な役割を果す政府金融機関であることを考慮すれば、現在においても依然として妥当である。現在の開発計画である、第 8 次国家経済開発計画（1997～2001 年）も、農村の貧困層と持続可能なスキームでの農産品加工を通じたより高い価値をつけた農業生産開発を強調し続けている。

2.2 実施の効率性

本事業に関しては、BAAC はタイ銀行(Bank of Thailand:BOT)と特別な協定を結んでおり、BOT が 1%の為替リスクプレミアムを負っている。(下図参照)



2.2.1 貸付実行額と期間

貸付額は4事業とも計画どおりであった。(表1参照)ただし、BAACローン(11)において多少の変更があり、これはコンサルティングサービスへの支出の一部を農民向けサブローンに変更したもので、BAACではこの変更を以下の理由から要求した。

- 1) サブローンの需要が非常に高かったこと、
- 2) 以前のBAACローンで実施されたコンサルティングサービスの一部がまたBAACローン(11)をカバーするものであった
- 3) サブローンの貸付実行がスムーズに進捗した。

これらはいずれも妥当な変更であったといえる。また、BAACは自己資金で家畜と野菜栽培活動につき、支店あるいは顧客にアドバイスを行うローカルコンサルタントを雇用した。

BAACを通じたエンドユーザーへのサブローンの貸付実行はほぼ計画どおりに実施された。BAACローン(9)は計画よりも早く貸付が終わり、他のローンは計画された完了年から遅れたものの、いずれも当初計画から1年以内に完了した。BAACローン(9)と地方農村開発信用事業のコンサルティングサービスは計画されていた年よりも後に実行された。これは主にコンサルティングサービスについて、その必要性や具体的な内容を決めるのに時間がかかったためである。この遅れによって特に問題は引き起こされなかった。

4つのローンのサブローン合計数は52,526件で、金額は3,180百万パーツに達する(表1)。サブローンの平均金額は1件当たり60,540パーツであった。返済期間はほとんどのローン、すなわち全体の99%が10年間未満であった。返済期間が5年までのサブローンは全体の27.8%であった。

表1: サブローンの年別貸付実行(計画と実績)

＜BAACローン(8)＞ (単位:百万パーツ)

年	1987	1988	1989	合計
計画*(JBIC)	32	632	4	668
(BAAC)	11	207	1	219
実績(JBIC)	14.99	652.63	14.70	682.32
(BAAC)	4.91	213.93	4.82	223.66

＜BAACローン(9)＞ (単位:百万パーツ)

年	1988	1989	1990	合計
計画*(JBIC)	-	396	579	975
(BAAC)	-	330	382	712
実績(JBIC)	110.54	741.28	-	851.82
(BAAC)	80.72	541.36	-	622.08

＜BAACローン(11)＞ (単位:百万パーツ)

年	1991	1992	1993	合計
計画*(JBIC)	189	572	125	886
(BAAC)	47	142	31	220
実績(JBIC)	400.73	540.95	7.53	949.21
(BAAC)	99.50	134.32	1.87	235.69

＜地方農村開発信用事業＞ (単位:百万パーツ)

年	1992	1993	1994	1995	合計
計画*(JBIC)	-	256	300	-	556
(BAAC)	-	65	74.40	-	139.40
実績(JBIC)	200.02	323.00	90.87	82.72	696.61
(BAAC)	50.14	80.98	22.78	20.74	174.64

出所:BAAC

2.2.2 サブローンの配分(地域、家計所得、生産品、投資項目毎による分類)

サブローンの配分状況は、小規模 / 低所得農民を支援するというプロジェクトの目標に合致したものであった。本事業によるローンの地域別配分の詳細は、全金額の 35%が東北部、25%が中部・東部、残りの 26%が西部と南部であった。残りの 14%は北部に配分されている。ローンの件数については、北東部が全体の 51%である。(図 1 参照)。ローン金額・件数ともに北東部がもっとも多いシェアを占めている。BAAC は低所得農民が多い北東部を貸付のターゲットとしていたため、この地域に重点的に配分されているのは妥当である。

サブローンの借入人の所得は、全体の 86.4 %が年間所得 30,000 バーツ未満の家庭である。(図 2 参照)。さらには、95.5%は 25 ライ (1 ライ=0.16 ヘクタール) もしくはそれに近い農地を持っている。(タイ全国平均ではそれぞれ所得が 60,000 バーツ、土地は 25 ライ) よってサブローンは意図していた受益者に適切に配分されたと結論づけられる。

生産品目毎の配分をみると、家畜・養鶏に対するサブローン件数がもっとも多い。果樹等に関するサブローンが次である(図 3 参照)。これは円借款が作物多様化を推進したことを示している。

投資品目毎の配分については、ほとんどのサブローンが土地あるいは牧草地の開発、家畜の購入に利用された。(図 4 参照) 地方農村開発信用事業においては、7 つの農協に計 11.1 百万バーツが配分され、建物の建設あるいは給油所建設のために配分された。

図 1: 地域別サブローン配分

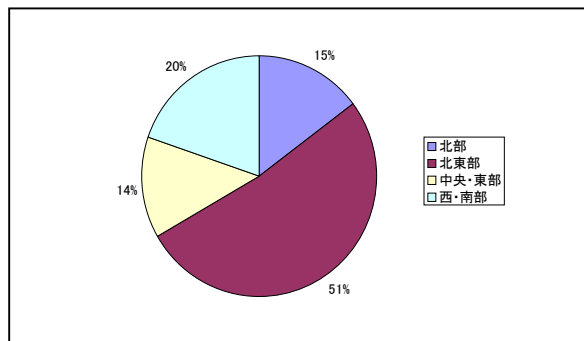


図 2: 所得別サブローン配分

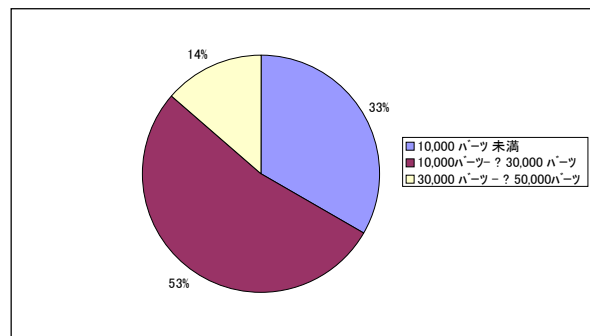


図 3: 生産品別サブローン配分

出所: BAAC

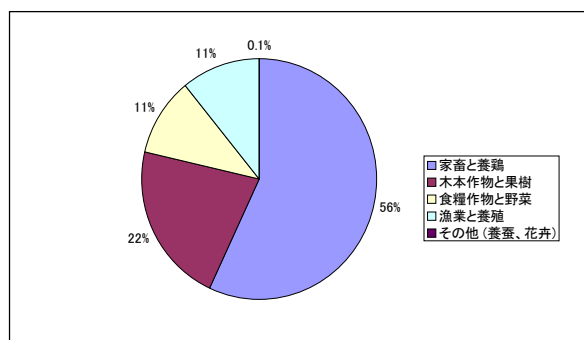
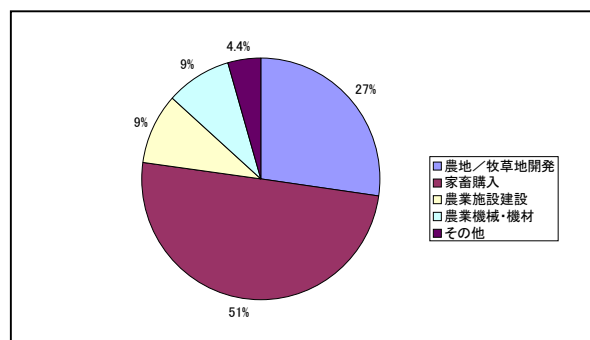


図 4 投資項目別サブローン配分



注: 図中の値についてはすべてサブローン件数に基づいて計算されたものである。

2.3 効果

2.3.1 農業生産への効果

本報告書の評価の一部として、受益者のサンプル調査が実施された。¹ 回答者のほとんどである全体の 80%が BAAC ローン(本事業によるローンを原資としたもの)の結果として生産は増大したと示している。12%の回答者は、生産量は概して変化がなかったと回答した。BAAC ローンの後で生産が減少した、あるいは、BAAC ローン以外の要因で生産が増加した、と答えた農民はほとんどいなかった。このことから本事業は生産量に関し、正の効果があったことを示している。

¹ 本調査は 2001 年 8 月に選ばれた地域において無作為に抽出した 105 人の借入人へインタビューすることで実施された。

2.3.2 農業所得への効果

農業所得への円借款の正確な効果を検証するのは難しいが、概して効果がみられた。サンプル調査の結果では、借入人が融資を受けた後で平均農業所得が 1.6 倍増加している（表 2 参照）平均農業収入もまた平均で 1.6 倍増加した。このサンプル調査では、回答者全体の 95% が BAAC ローンは借入人とその家族の福祉の向上に貢献したと述べている。これらのうち、80% の人が家・生活状況の改善があったと回答し、32% の人が教育関係の支出が増えたと回答した。実証的に農村の農民は所得が増加すると、これらの項目への支出が増える傾向があることから、これらの事実は彼らの所得が増加した根拠ともなる。

2.3.3 農業協同組合のインフラストラクチャーの発展

地方農村開発信用事業は、農業協同組合の資本（インフラ）整備およびその発展に正の効果があつた。調査チームはラン・パンにあるハン・チャット農業協同組合を訪問した。この協同組合は、三階建て 360 m² の新しい建物で、その建設に 300 万バーツの融資を受けた。古い建物のほうは平屋建て木造で全体の床面積が約 60 m² であつた。1994 年の建物完成以来、新しい建物は適切に運営、維持管理されてきた。建物の中には消耗品・機械のショップ、組合オフィス、会議や研修に利用される部屋などがある。

BAAC の報告によると、チェンマイのサンパトン農業協同組合は 400 万バーツの融資を受け、1995

表 2：平均農業所得

(単位:バーツ)

項目	BAACローン前	BAACローン後	調査実施年 (2001)
農業所得	54,697	87,539	133,584
農業支出	26,096	43,083	64,055
純農業所得	28,600	44,456	69,529

出所: PEDACs2001でのサンプリング調査

-1995年価格で調整

-105人中のサンプルデータのうち利用可能な90サンプルから計算

年に給油所を建設し、年間 38.3 百万バーツの収入があり、協同組合の全体収入の 26% を占めるまでになっている。

2.3.4 小規模農民の投資活動の促進

BAAC ローン前には、農民は低金利、無担保、あるいは簡素な申請手続きといった有利な条件で融資が得られなかった。しかしながら、BAAC ローンにより小規模農民はさらなる生産性向上のための一層の投資をするようになった。本調査のためインタビューをした農民の多くが BAAC ローンの条件に満足しており、もしローンがなかったとしたら、農業への投資ができなかったであろうと回答している。

2.4 インパクト

2.4.1 生産費の多様化と輸出促進

前述したように、本事業の結果作物の多様化は達成され、生産全体が増加した。本事業によるローンによって融資された主な生産品項目である動物・乳製品、フルーツ、野菜（園芸作物）は、1990 年代を通じて質・量ともに輸出が増加傾向にあつた。円借款の輸出に関してのインパクトに関する直接的相関を計測することはできないが、円借款がこれらの農産品輸出にある程度は貢献したと考えられる。

2.4.2 環境と社会面でのインパクト

環境に対する負のインパクトは最小限であつたと考えられる。本事業実施時は借入人の環境面を監督する内部の方針は原則無く、マングローブを侵食する恐れのあるエビ養殖について唯一ガイ

ドラインがあったのみであった。

BAAC は 1998 年以降から、環境インパクトや環境にやさしい技術に関する情報の提供により、職員や顧客に環境に関する意識の向上を奨励し始めた。現在、BAAC は(i)農業生産、(ii)家畜、(iii)その他への投資に関する環境基準を持っている。アプレイザル時、BAAC は環境インパクト、例えば、土壌汚染、水質汚濁、森林伐採について評価をしており、負のインパクトが見込まれた場合は融資しないことになっている。また、1999 年に制定された方針により、中部の淡水での海老の養殖に関しては融資しないことになった。融資審査において BAAC は現在、環境に対するインパクトを評価するチェックリストを用いている。

2.4.3 小規模農民への資金支援のインパクト

2001 年 3 月末、BAAC から資金を借りている顧客農民および農民組織数は 512 万に及び、円借款事業を通じた借入人は 205,709 人（現在、全部で 16 のローンが JBIC により融資されており、その中には本報告書の評価対象の 4 ローンが含まれる）に達し、BAAC の全借入人の 4%を占める。

リボルビングファンド（BAAC によって管理されているファンドで、ターゲットとしている受益者に対し、同じ条件でローンを提供するために借りてからの返済金を貯めておくもの）の借入人も含めると、BAAC 顧客に占める JBIC に関連する借入人の割合は 4%以上となる。なお、円借款は海外からの資金調達で最も大きな割合を占めており、その比率は約 26%となっている（2000 年 3 月時点）。

2.5 持続性・自立発展性

2.5.1 実施機関の組織

2001 年 8 月の時点で、BAAC は全体で 13,116 人の職員、592 の支店がある。本部には 1,489 人の職員、支店には 11,627 人の職員がいる。前年と比較すると、経理部、情報技術部において部レベルの変化があった。

BAAC の地方支店においては、平均で 10 人の貸付担当職員を含めた約 20 人の職員がいる。BAAC の広大なネットワークは、都心から離れた場所に住む小規模農民のニーズに応えるのに役立っており、それが組織の利点のひとつである。

職員は、人的資源開発部によって策定された年間あるいは長期的な人的開発計画（HRD）によって教育されている。これにより、管理職と担当レベル各職員の能力を発見・選択すると同時に、各職員の専門能力を開発することを目指している。県レベルのオフィスもまた職員のニーズにみあった訓練コースを計画している。各支店は地域の農民のニーズにこたえるため、ローンの審査と管理活動を行う権限を持っている。これらの組織的特徴は、BAAC の運営目的に添ったものとなっている。

2.5.2 債務管理

(i) 審査過程

ローンの申し込みは各現地の支店で受けつけられる。ローンは金額によって異なるレベルの支店で審査される。県レベルの支店では、金額 2 百万バーツまでのローンが審査される。2 百万バーツを超えると本部に送られる。この体制は近年変化はない。BAAC は地方の貸付担当職員に研修コースを提供しており、異なるレベルの支店で違いがあるような問題はない。しかしながら、地方のオフィスと顧客の数を考慮すると、全ての支店が効率的に運営をはからなければならない。この目的のために、近年、BAAC は本部と支店を結ぶ情報技術システムを開発している。

(ii) 返済

1997 年の経済危機後、BAAC 資産全体で延滞が増えた（表 3 を参照）。本事業についても同様に、1997 以降延滞比率が増えている。利払いも含めた現金回収率をみても（表 4）、1998 年のあと、急激な減少がある。これは多くの農民が支払い期限までに返済できなくなったことを示している。BAAC の延滞比率は 2000 年に減少したが、1997 年以前のレベルまでには回復しなかった。2000 年における 3 つのローンに関する現金回収率は前年度より減少している。これは、一般的に農民が返済困難な状況であることを示している。

表 3: 個人農民への全貸付についての BAAC の延滞残高（元本）

(単位:百万バーツ)

出所:BAAC

	1996	1997	1998	1999	2000
短期貸付分	4,531	7,060	10,949	10,730	10,062
中期貸付分	2,842	4,450	7,077	8,554	7,815
キャッシュ・クレジット・ライン貸付分	2,590	3,857	6,273	6,505	4,776
農業投資長期債務貸付分	1,860	2,876	4,668	6,150	5,826
旧債リファイナンス分	102	152	218	276	9
農業関連活動貸付分	309	983	2,033	2,532	2,203
債務調整分	37	41	53	68	84
合計 (A)	12,271	19,419	31,271	34,815	30,775
全貸付残高 (B)	162,640	177,545	192,823	212,797	214,315
(A)/(B) (%)	7.5%	10.9%	16.2%	16.4%	14.4%

注: 2000 年度末になされた政府からの政策指導による公的機関代表としての支出を除く。

表 4:現金回収率¹⁾

単位: (%)

プロジェクト名	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
BAAC ローン (8)	82	69	51	58	36	24	26
BAAC ローン (9)	92	85	67	58	34	43	15
BAAC ローン (11)	80	80	71	62	41	30	15
地方農村開発信用事業	79	75	82	74	66	66	35

出所:BAAC

注:¹⁾期間内に回収された元本・金利返済合計/ 期間内の元本・金利返済合計((延滞残高を含む))

BAAC は借入人の返済状況を改善する努力を行ってきている。返済延滞の場合は、支店を通じて確認のレターを送付した後、貸付担当職員が丁寧にそれらの農民をフォローアップし、可能な返済方法について話し合っている。返済を促進するために、BAAC はまた農民にインセンティブを与えている。すなわち、期限どおりに返済を行う農民には返済遅延による罰金を免除することである。

延滞の増加に対し、タイ政府は小規模農民の債務負担を緩和するため、「債務モラトリアムと削減スキーム」という支援を 2001 年度から実施することを決定した。BAAC への債務が 100,000 バーツは以下の小規模農民はこのスキームを申請することができる。彼らは元本部分について、債務の返済猶予あるいは政府から年 3%の率で利息補償をもらえる権限がある。

前述のサンプリング調査では、「債務モラトリアムと削減スキーム」を適用されている人々はサンプル全体の約 38%であった。残りは、このどちらのプログラムにも入っていない人々である。債務返済の繰延べあるいは支払不履行の場合、サンプリング対象農民は低い収穫量、作物被害、天候不良を理由としてあげている。その他、天候不良などの自然状況も彼らの生産活動における困難さとして答える回答が多かった。しかしながら、他にも様々な理由も見られた。例えば、「運転資金不足」は比較的高い比率を占めており、全体の 27%である。「機械や事業実施の不適切な管理」は全体の 17%、そして「マーケティングの問題」は 11%であった。これらは農民の生産活動において、さらなる支援可能な要素である。

(iii) 特別勘定のキャッシュフロー (リボルビングファンド):

前述したように、BAAC は借款契約の中でエンドユーザーからの返済資金を貯めておき、同様のターゲットとしている受益者層に同じ条件で再び貸付を行うために、特別勘定 (リボルビングファンド) というものを設置するように求められている。BAAC は、収集不可能なデータ、すなわち、リボルビングファンドから貸し付けられたサブローンの返済金を除いた各ローンのリボル

ピングファンドのキャッシュフロー表を報告した。

BAAC ローン (8) と (9)のリボルピングファンドからのサブローンの貸付は比較的進んでいるが、BAAC ローン (11)と地方農村開発信用事業からの貸付は低い²。これは、ローンの需要が1998年以降限られていたからで、その理由は経済危機による投資環境の悪化、投資熱の低下などが考えられる。

2.5.3 財務状況

BAAC の純利益からみた財務状況は、最近3カ年で改善した。2000年度から2001年度では、純利益が91%も上昇している。融資額と預金もまた最近3カ年で増加している。しかしながら、BAAC の財務の見込みは、タイ政府の「債務モラトリアムと削減スキーム」のもとでの債務管理の能力による。政府は、BAAC に利息分の補償のために年60億バーツを支出してBAAC の財務状況を支援している。この政策の影響は次の3カ年にわたって、注意深く検証されるべきである。

表6：BAAC 主要財務指標

(単位：百万バーツ)

出所：BAAC 年報等

項目	年		
	1999	2000	2001
総資産	265,290	276,680	308,930
資本	17,712	20,554	22,468
貸付金	204,209	223,462	243,715
預金	165,007	180,564	214,742
借入金	77,618	70,652	63,348
総収入	27,169	24,011	21,023
純利益	203	280	536

² 一次貸付のサブローン金額に対するリボルピングファンドからのサブローン貸付金額の割合は、BAAC ローン (8) 101%; BAAC ローン (9) 87.6%; BAAC ローン (11) 51.9%; and 地方農村開発信用事業 21.7%.

主要計画 / 実績比較

項目	計画	実績
<BAAC ローン(8) >		
事業範囲	2-3 ページ参照	同左
工期		
サブローン貸付	1987-1989	1988-1989
コンサルティングサービス	1987-1989	1988-1989
事業費		
外貨	3,672 百万円	3,672 百万円
内貨	1,203 百万円	1,221 百万円
合計	4,875 百万円	4,893 百万円
うち円借款分	3,672 百万円	3,672 百万円
換算レート	1 パーツ=5.5 円	1 パーツ=5.45 円
< BAAC ローン(9) >		
事業範囲	2-3 ページ参照	同左
工期		
サブローン貸付	1988-1990	1989-1990
コンサルティングサービス	1987-1989	1990-1991
事業費		
外貨	4,875 百万円	4,875 百万円
内貨	3,562 百万円	3,453 百万円
合計	8,437 百万円	8,328 百万円
うち円借款分	3,562 百万円	4,875 百万円
換算レート	1 パーツ=5.0 円	1 パーツ=5.55 円
< BAAC ローン(11) >		
事業範囲	2-3 ページ参照	コンサルティングサービスのみ取り 消し、他は計画通り
工期		
サブローン貸付	1991-1993	1989-1990
コンサルティングサービス	1991-1992	取り消し
事業費		
外貨	4,694 百万円	4,694 百万円
内貨	1,166 百万円	1,077 百万円
合計	5,860 百万円	5,771 百万円
うち円借款分	4,694 百万円	4,694 百万円
換算レート	1 パーツ=5.3 円	1 パーツ= 4.57 円
< 地方農村開発信用事業 >		
事業範囲	2-3 ページ参照	同左
工期		
サブローン貸付	1993-1994	1993-1996
コンサルティングサービス	1992-1994	1993-1995
事業費		
外貨	2,837 百万円	2,837 百万円
内貨	711 百万円	693 百万円
合計	3,548 百万円	3,530 百万円
うち円借款分	2,837 百万円	2,837 百万円
換算レート	1 パーツ=5.1 円	1 パーツ=3.97 円